

- ① 2つの<sub>ア</sub>  $x, y$  について,  $y$  が<sub>イ</sub> \_\_\_\_\_ で表されるとき  
 $y$  は<sub>ウ</sub> \_\_\_\_\_ であるという。式は次のようになる。
- ② 1次関数の  $y=8x+20$  の  
 $8x$  の部分を「<sub>エ</sub> \_\_\_\_\_」という。  
 $+20$  の部分を「<sub>オ</sub> \_\_\_\_\_」という。
- ③ 比例を表す式<sub>カ</sub> \_\_\_\_\_ は, 1次関数を表す<sub>キ</sub> \_\_\_\_\_ の式で,<sub>ク</sub> \_\_\_\_\_ が<sub>ケ</sub> \_\_\_\_\_ になっている特別の場合である。このように, 比例は1次関数の<sub>コ</sub> \_\_\_\_\_ である。
- ④ \_\_\_\_\_ に対する<sub>シ</sub> \_\_\_\_\_ の割合を<sub>ス</sub> \_\_\_\_\_ という。
- $$\left( \quad \right) = \frac{\left( \quad \right)}{\left( \quad \right)} =$$
- 上の式から, 次の式が成り立つ。
- $$\left( \quad \right) = \left( \quad \right)$$
- このように,  $y$  の増加量は  $x$  の増加量に<sub>タ</sub> \_\_\_\_\_ する。また  
この一定の値<sub>チ</sub> \_\_\_\_\_ は,  $x$  が<sub>ツ</sub> \_\_\_\_\_ したときの<sub>テ</sub> \_\_\_\_\_ である。
- ⑤  $y$  が  $x$  に反比例するとき, 変化の割合は<sub>ト</sub> \_\_\_\_\_ ではない。
- ⑥ 1次関数  $y=ax+b$  の<sub>ナ</sub> \_\_\_\_\_ は,  $x=0$  のときの<sub>ニ</sub> \_\_\_\_\_ で,  
グラフが  $y$  軸と交わる点<sub>ヌ</sub>  $(\quad)$  の<sub>ネ</sub> \_\_\_\_\_ になっている。  
この  $b$  のことを, 1次関数のグラフの<sub>ノ</sub> \_\_\_\_\_ という。
- ⑦  $y=ax+b$  のグラフは, 点<sub>ハ</sub>  $(\quad)$  を通り  
 $y=ax$  のグラフに<sub>ヒ</sub> \_\_\_\_\_ である。
- ⑧  $y=ax+b$  のグラフの傾きぐあいは,<sub>フ</sub> \_\_\_\_\_ がどのような値をとるかによって決まる。  
この意味で,<sub>フ</sub> \_\_\_\_\_ をそのグラフの<sub>ヘ</sub> \_\_\_\_\_ ともいう。
- ⑨ 1次関数  $y=ax+b$  では, 次のことがいえる。
- $a > 0$  のとき  $x$  が増加すれば  $y$  \_\_\_\_\_  
グラフは<sub>マ</sub> \_\_\_\_\_ となる。
- $a < 0$  のとき  $x$  が増加すれば  $y$  \_\_\_\_\_。  
グラフは<sub>ム</sub> \_\_\_\_\_ となる。